

What's up,



OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 65》2018年7月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【九重町／玖珠町】



(九重町)
龍門の滝



(九重町)
豊後牛



(玖珠町)
伐株山



(玖珠町)
栖鳳楼

ラグビー国際試合「日本代表対イタリア代表戦」が行われました！

6月9日(土)に県内初となるラグビー国際試合「日本代表対イタリア代表戦」が行われました。

県内外から約2万6千人の方が来場し、両チームの迫力あるプレーに大きな歓声を送りました。試合結果については、イタリア代表に先制を許しましたが、34-17で日本代表が勝利しました。

また、この試合を盛り上げるため、試合開始前には西口広場にて、おおいたラグビーフェスタを開催しました。お笑い芸人のスリムクラブや、大相撲の嘉風関と大分県ラグビー大使の今泉さんのトークショー、ラインアウトを体験するコーナーなどを行いました。観戦に訪れた人たちににぎわいました。

今回のテストマッチでは、ラグビーワールドカップ2019の本番を見据えて、観客の輸送、会場周辺の交通規制などのシミュレーションも行いました。輸送・交通については、全体としては大きな混乱はなく、事前の周知を含め交通規制が機能し、主要交差点の交通量が前の週と比較し約20%減少しました。試合当日は、約100人のボランティアの方にシャトルバス乗降場での誘導、ドーム内でのチケット確認、イベント補助等にご協力いただきました。今回のテストマッチにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

会場の案内・誘導や復路のタクシー待ちなど、いくつか課題も見えてきましたので、来年の本番に向けしっかり準備していきます。



【ラグビーワールドカップ2019推進課】

第20回記念「別府アルゲリッチ音楽祭」とローマ記念公演

クラシック界のスーパースター！世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチの音楽祭が、今年も5月6日～6月8日の期間開催されました。アルゲリッチが愛してやまない大分の地に毎年世界から錚錚たる音楽家が集う「奇跡」、今回は第20のメモリアルに相応しい歴史を刻みました。

まず東京公演では音楽祭に縁の深い指揮者チョン・ミョンフンを迎え、また皇后陛下の行幸を仰ぎました。大分公演では世界的トランペッター、ナカリャコフと水戸室内管弦楽団との共演で、圧巻のピアノ演奏を披露、そして世界で唯一アルゲリッチの名を冠する「ハウス」公演では、世界の音楽ファン垂涎の「ソロ」を含む室内楽の名演が繰り広げられました。

今後は日本を代表する演奏家による「ハウス室内楽シリーズ」、そして記念事業として12月にはローマ公演が決定しました！世界を代表する音楽家達が出演する予定ですので、どうぞご期待ください。



©Rikimaru Hotta



©Rikimaru Hotta

【詳細】

アルゲリッチ芸術振興財団 ついて→ <http://www.argerich-mf.jp>

音楽祭とおんせん県おおいたの魅力満載動画→ <http://www.argerich-ops.jp/>

【芸術文化スポーツ振興課】

「輝く女性国際交流大会 in Oita」が開催されました

6月25日に、「輝く女性国際交流大会 in Oita—アジア8カ国女性・青年会議」がレンブラントホテル大分で開催されました。

中国、インドネシア、韓国、モンゴル、ミャンマー、タイ、ベトナムに日本を加えた8カ国の女性団体の代表や政府関係者、留学生等が参加し、「自然・人と人、アジアの共生を基本に豊かさが実現でき、時代に誇れる地域・アジアの創造」をテーマとして発表等が行われました。

会場には約300名が訪れ、女性が輝く社会の実現に向けて交流を深めました。



大分県で学ぶ留学生への奨学金認定式が開催されました

大分県では、私費で学んでいる外国人留学生を対象とした奨学金制度を設けています。6月13日に、認定式を開催し、県内の短大、大学、大学院で学ぶ80名の留学生が奨学生に認定されました。



認定式では、二日市副知事から「大分県でしっかりと学び、地域の人とも交流し、将来は大分県と母国との架け橋になってほしい」と挨拶があり、奨学生を代表して、立命館アジア太平洋大学3年のトンプソン ケイリー ニコル ナマウさんが謝辞を述べてくださいました。

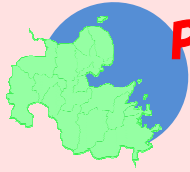


奨学生には大分のことをより深く知ってもらい、地域に貢献してもらうため、全3回の「大分県講座」を受講してもらうことになっています。その第1回目が認定式に引き続き、国際政策課長が講師となり、実施されました。

また、実際に各地に足を運び、大分県への理解をさらに深めてもらうため、「大分県スタディツアー」も年4回実施しています。6月23日にその第1回目を開催しました。

今回は別府市にご協力いただき、「別府てんてく」を歩きました。ガイドさんの説明を聞きながら、今まで知らなかったディープな別府についても学びました。最後にディスカッションを行い、留学生の目から見た別府の魅力や改善点等についてグループごとに発表してもらいました。交通やWifi、ゴミ箱について等、様々な意見が出て有意義なツアーとなりました！





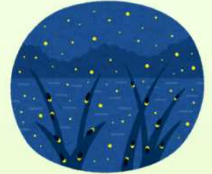
Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（6月）

News

【6月2日（土）】ホテル鑑賞・環境保全イベント

別府市亀川の冷川周辺で2日、ホテル鑑賞を兼ねた環境保全イベント「冷川をホテルの舞う観光名所に育てよう」がありました。大学生や地域住民ら約120人が参加し、清掃や菜の花の種まきをしました。また、ホテルが育つ環境などについて学んだ後、日が暮れるとホテルが姿を現し、参加者はその光の美しさを楽しんでいました。



News

【6月16日（土）～17日（日）】梅干しの種飛ばし大会

日田市大山町にある道の駅水辺の郷おおやまで16日、梅の実収穫祭が始まり、梅干しの種を遠くに飛ばす大会など、多彩な催しがありました。特産の梅をPRする目的で初めて企画されたものです。種飛ばし大会では市内外から約30人が参加し、勢いよく口から種を吹き出す姿が見物客の笑いを誘いました。



News

【6月20日（金）～】県内でも半端ない「大迫」フィーバー

サッカーワールドカップ日本代表の活躍に県内も盛り上がりを見せました。大迫勇也選手と同じ名前をもつ豊後大野市の「大迫磨崖仏」や、大分市にある大分バスのバス停「大迫」の関係者が見物客や利用客の増加につなげようと、SNS等でPRしました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成



英国研修レポート

国際政策課の佐藤が、英国研修中に現地の様々な情報をレポートします！

6月から9月初旬の約3ヶ月間、総務省の地方公務員海外派遣プログラムにより、イギリスで研修を行っています。

現在はロンドンの語学学校に通っていますが、語学学校はもちろんの事、一歩外に出て道を歩いていると英語よりも、スペイン語やドイツ語、中国語や韓国語など様々な言語がとびかっっており、また多国籍料理のレストランも多く、ロンドンが多文化満載のエリアだなと感じます。さらには西欧絵画の傑作を多く所蔵しているナショナルギャラリーや、世界最高峰と言われる大英博物館など美術館や博物館、またミュージカルのシアターなども多く見所が満載です！

「ロンドンに飽きた者は人生に飽きた者だ。ロンドンには人生に与え得る全ての者があるから」とはイギリスの文学者の言葉ですが、まさにその通り。残り2ヶ月ですが研修に励みながら、イギリスの多様な文化、芸術も満喫したいと思います。



【国際政策課 佐藤佳香】

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



金 眞雅
(Kim Jina)

大分～ソウル線の利用促進のため、大分県内の各種メディアを対象とした韓国旅行視察ツアーに同行してきました。3泊4日の行程で、韓国伝統衣装の韓服体験やソウルのいろんな観光地とグルメなどを取材しましたが、何よりサムギョブサル、サムゲタン、チーズタッカルビなど私のずっと食べたかった定番の韓国料理がたくさん食べられて幸せでした。途中で私も知らなかったインスタ映えするスイーツやカフェなどがたくさんできていて、韓国事情に疎くなっている自分に寂しさを感じましたが、おかげで最新の韓国事情が知れたので良かったと思います。今回の韓国ツアーの内容はハロー大分と金様の鍵、月刊ブラザにて紹介される予定です。是非チェックしてください！



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)

今まで、大分県では一回だけ山登りをしたことがありました。大分に来たばかりときに、久住山を登りましたが、それ以来は登山していませんでした。久住山を登ったとき、意志が弱かったので最後まで登りませんでした。大きいグループと一緒に行ったので、途中の低い崖で他の弱い友達と一緒に休憩していました。

今回は由布岳を登ることになり、「絶対あきらめない」と思いながら頂上までたどり着きました。思ったより時間がかかって、3時間くらいずっと登りました。登山そのものはすごく大変でしたが、見える景色が本当に立派でした。帰国する前に時間があればまた山を登りながらきれいな景色を見たいと思います。



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

今月は、初めてのラグビー関連の料理教室を行いました。これは、大分県の人々が2019年のラグビーワールドカップに来県する国の食糧を通して、各国の文化をよりよく理解するために始めたプロジェクトです。先日の初めてのクラスでは、日田市の咸宜公民館で26人の日田市の地元住民が集まり、カウルやウェルシュ・レアビットなどのウェールズの伝統料理の調理方法を学びました。全ての料理が完成された後、出来るだけ多くの質問に答えながら、簡単なウェールズとラグビーワールドカップの紹介をしました。

日田市から本番の試合を観戦するためには車で2時間ほどかかるので、このような楽しいイベントで少しでも関心が深まっていれば幸いです。今後2ヶ月にわたって開催される、残りの9つの料理教室がとても楽しみです。



方 応梅
(Fang Yingmei)

先週、雨の中を明礬温泉と親しく触れ合いました。明礬温泉は別府市街から少し離れた伽藍岳中腹の標高400mの所にある地熱地帯で、その名の通り、江戸時代から明礬(湯の花)が採取されてきた山の温泉街です。温泉に入浴できるだけでなく、いろいろな温泉関連製品を食べたり、楽しんだりすることもできます。私は岡本屋で土地の名物の地獄蒸しプリンを食べました。さすがに地獄蒸しプリンだけあって、舌に付いた時にちょっと苦い味がしますが、食べていくうちに、柔らかく甘い味になって、とても美味しかったです。また時間がある時に再度訪れ、地獄蒸しプリンを味わいたいと思います。



～編集後記～

ロシアで開催されているサッカーワールドカップと同様に、来年は大分をはじめ日本各地で開催されるRWCの話題で世界中が盛り上がると思います。そのために、知事はじめ県・市町村等が中心となって、ヨーロッパ・大洋州などにおいて大分プロモーションを行っており、詳細は来月のWhat's up OITAでも紹介する予定です。また、海外で活躍している留学生、CIR、ALTのOBや県人会の皆様など大分ゆかりの人たちからの情報も、もっと紹介していきたいと思いますので、よろしく願います。

(国際政策課長 徳野 満)

話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp